講義録レポート

講座	証券アナリスト	科目①		経済	
目標年		科目②			
コース	1次秋試験向け 3科目横断実践セミナー	回数	1	回	
収録日	2012 年	5	 月	16 日	
講師名	小川 先生	講義録 枚数 ^{補助レジュメ}	1	枚 ※レポート 含まず	
		枚数	2	枚 ※表紙含む	
講義構成	講義(23)分				
使用教材					
	2				
	3				
	4				
配布物	<u>有・無</u>				
	2				
	3				
正誤表	有・無 枚				
備考					

数

証券アナリスト講義録

日経 済

コール対策
双海智心
ナ

テキスト ペ ー ジ	黒板内容
	次経済 出題範囲 配点ウェイト
	第1問 37口経済学 27%
	第2間 マクロ経済学 39%
	第3問金融論 14%
	第4問 国際金融論 20%。
	(内訳) 。ミクロ経済学 消費者行動、企業の生産活動、 市場均衡(ワルラス調整, 比較静学) 不完全競争市場、不確実性下の行動、情報の経済学 国民所得統計(GDP)、乗数効果、IS-LM分析 AD-AS分析、フィッシャー方程式、物価指数 経済成長理論 。金融論 金融取31の基礎、B本の金融市場, B本銀行の金融政策 国際金融論 国際収支、実質為替しし、購買力平価説 全利干価説

1次秋向け3科目横断実践セミナー 経済

2012 年 5 月 TAC 証券アナリスト講座 小川

1. 1次経済の概要

- ▶ 試験時間は90分、90点満点。
- ▶ 問題数は50問程度。すべて選択問題。
- ▶ 大問は以下の4つ。

		配点ウェイト
第1問	ミクロ経済学	27%
第2問	マクロ経済学	39%
第3問	金融論	14%
第4問	国際金融論	20%

- ▶ ミクロとマクロを合わせた「経済学」で全体の3分の2を占める。
- ▶ 金融論は、暗記事項が多いが、覚えておけば得点源になる。
- ▶ 国際金融論は、国際収支と為替レートを中心に、計算問題の出題が多い。また、マクロ経済政策が貿易収支や為替レートに与える効果など、マクロ経済学との関連が深い。

2. 主な出題範囲

ミクロ経済学 ⇒ 問題ごとのレベル差が大きい。一部の計算問題は難易度が高い。

消費者行動(効用最大化問題、財の価格変化の効果)

企業の生産活動(費用関数、供給関数)

市場均衡(ワルラスの調整過程、比較静学、余剰分析)

不完全競争市場(独占、寡占、ゲーム理論)

不確実性下の行動(リスクに対する態度、確実性等価、状態価格)

情報の経済学(逆選択、モラルハザード、エージェンシー問題)

マクロ経済学 ⇒ 配点が最も高く、問題量も多い。

国民所得統計(GDP)

乗数効果(45度線モデル、有効需要の原理)

IS-LM 分析 (財政政策・金融政策の効果、クラウディングアウト、流動性の罠)

AD-AS 分析 (総需要・総供給の変動が物価とGDPに与える効果)

フィッシャー方程式(実質金利、期待インフレ率)

物価指数(ラスパイレス方式、パーシェ方式、連鎖型)

経済成長理論 (成長会計、新古典派経済成長理論)

金融論 ⇒ 基本的な事項の暗記が中心。

金融取引の基礎(直接金融と間接金融、市場型取引と相対型取引、リスクの分類)

日本の金融市場(短期と長期、金融制度)

日本銀行の金融政策(日銀当座預金、公開市場操作、準備預金制度)

国際金融論 ⇒ 計算問題の出題が多い。

国際収支(経常収支、資本収支、外貨準備増減)

実質為替レート(国際競争力との関連、実質実効為替レート)

購買力平価説(絶対的と相対的、金融政策の長期的な効果)

金利平価説(カバーなしとカバー付き、為替リスク)

- 3. 秋試験に向けた試験対策
- ▶ 経済学の基本的な考え方を整理。
- ▶ 過去の頻出分野を中心とした問題演習。
- ▶ 暗記事項の確認。